

Bellmark Shimbun

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

在宅「仕分け」で社会に貢献

🚩 グラクソ・スミスクラインの社会貢献チームの皆さん



2020年社会貢献チームに参加している皆さん。キックオフの際に記念写真を撮った

新型コロナウイルスの世界的流行で、感染拡大防止のため在宅勤務をする人が増えています。緊急事態宣言や、その後の東京アラートは、現在では解除されていますが、まだ予断を許さない状況です。

そんな中、ベルマーク財団には、ある問い合わせが増えました。それは「マークの仕分けボランティアをしたい」というもの。財団に寄贈された未整理のマークを仕分け・集計するボランティアです。今回、医薬品メーカーのグラクソ・スミスクライン（GSK、本社・東京都港区）の社員が、仕分けに取り組んでくれました。同社が仕分けをするのは3回目です。「社会貢献チーム」に参加する齊藤公次郎さんにお話を伺いました。

社会貢献チームは、社としてのボラン

ティア活動の企画・運営をするチームで、メンバーは約20人。活動には就業時間の一部を使えるしくみになっており、それぞれが抱える業務と並行して進めることができます。齊藤さんの仕事は営業で九州地方が担当ですが、他のメンバーの仕事内容や配属先はさまざまです。リーダーの山下康之介さんは営業の甲信越地域担当、川端美穂さんは営業の東関東地域担当、木谷雅子さんは本社で開発を担当……と立場は違いますが、同じ志を持っている社員が集まっています。

全国から参加を希望した10人の社員のもとに未整理マークが送られ、仕分け済みのものを齊藤さんが集約しました。「子どもと自宅でできるボランティアとして楽しめた」「同僚と参加して有意義

な時間を過ごせた」といった感想が寄せられたそうです。

財団には個人からの申し込みも寄せられます。手書きのはがきを送ってくれたのは、岡崎雅さん(26)。はがきを選んだ理由について「デジタルなつながり、以外で、人と関わりたいと思ったから」と話しました。新型コロナ禍の中でも電話やメール、SNSなどを使えば人とつながることはできますが、それを「関わり、とすることには違和感を持っていた」といいます。

ベテランのボランティアも活躍しています。過去に19回も寄贈マークを受け取り、仕分けした経験のある女性(59)



④全国に散らばるチームの仲間たちとは、オンラインでミーティングを行う。画面左上が齊藤公次郎さん

⑤齊藤さんの手書きメッセージとオリジナルの集計用紙

は「きっかけは、東日本大震災の後、自分の家にあったベルマークを送ったことでした」と振り返ります。そのときに財団から送られてきたベルマーク新聞に「仕分けボランティア募集」の記事があり、応募したことが始まりでした。

ベルマーク運動には、仕分けボランティアの皆さんの存在が欠かせません。これからもよろしくお願いたします。

たくさんのマークの仕分け、
ありがとうございます！



「教育応援隊2020」締切を延長

🚩 ベルマーク預金を使って体験型の授業を

ベルマーク財団の2020年度「教育応援隊」は、締切を延長するなどして、応募を受付中です。

オーサー・ビジット 教育評論家で尾木ママこと尾木直樹さん、絵本作家の宮西達也さん、昨年のベストセラー「こども六法」著者の山崎聡一郎さんの3人が、学校を訪れて、とっておきの授業をします。朝日新聞社との共同企画。締切は7月28日(火)必着。

防災科学教室 国立研究開発法人の防災科学技術研究所から講師を派遣、自然災害が起きるメカニズムや備えるべきポイントなどを、実験等も交えながら考えます。災害の分野などは相談に応じます。締切はありません。

ミズノ・スポーツ教室「走り方」「サッカー」 小中学

校を対象に、実技中心に2時間程度の指導。こちらも締切はありません。

シャンティ国際ボランティア会「絵本を届ける運動」 アジアの子どもたちに、現地語の翻訳シールを貼った絵本を届けるシャンティ国際ボランティア会(SVA)の活動。学校で作業した完成品を10月末までにSVAへ返送します。締切は8月末。

教室の内容や応募方法についての詳細は財団HPの「ダウンロード」→「各種申込書」にある教育応援隊チラシをご覧ください。「防災科学教室」は15校、「ミズノ・スポーツ教室」は10校、「絵本を届ける運動」は20校に達した時点で募集を終了します。



町民たちがコツコツとベルマーク運動

台風で被災した千葉・鋸南町の鋸南小



前列左から、「エンゼルの会」代表の米山美子さん、白石君子さん、後列左から時乗宣子さん、渡辺ます子さん、磯崎正子さん

千葉県鋸南町(きよなんまち)は、唯一の小学校である町立鋸南小学校(樋口和夫校長、児童237人)のために、町ぐるみでベルマークを集めています。昨秋、千葉県は強風の台風15号に襲われ、鋸南町も大きな被害が出ました。その復旧がまだ済まないうちに今度は新型コロナウイルス禍。それでも現在、学校は通常に戻り、ベルマーク活動も再開されています。

運動の中心は町の社会福祉協議会。町内各所に回収箱を置き、広報誌でマーク収集を呼びかけます。公募したボランティアグループ「エンゼルの会」がマークを回収して仕分け・集計し、鋸南小名義で財団に送ります。鋸南小は学校統合で2014年に開校。その翌年から現在のような仕組みでの活動が始まりました。

昨年9月9日未明、台風15号が町を通過しました。飛ばされた屋根瓦がブロック塀に当たって割れる「ガシャン」という音が何度も響き、夜が明けると電信柱が

倒れていました。補修用のブルーシートで町は青く染まり、停電や電波障害も。社協は災害ボランティアの拠点になりました。さらにコロナ禍。今年度のベルマーク活動が始まったのは6月でした。

取材したのは6月下旬。エンゼルの会の5人が作業の様子を見せてくれました。81歳で最高齢の渡辺ます子さんは台風で自宅が被災。「よく切り抜けてきた」と振り返りつつ「いい人たちと巡り会えました」と話します。「一人でも多くの人に活動を知ってもらいたい」と代表の米山美子さん。社協事務局長の増田光俊さんは「子どもたちを支えている活動に感謝します」と語りました。

台風は、鋸南小にも大きな被害を与えました。校舎や体育館倉庫の窓が割れ、教室や廊下が浸水。体育館は避難所や支援物資の受け入れ拠点になりましたが、校舎の屋上にあったソーラーシステムのおかげで停電中でも電気が使え、助かったそうです。



㊤エンゼルの会が集めたベルマークで買ったドッチビー ㊦台風から約1カ月後、鋸南小の屋上から見た景色。ブルーシートが目立つ
主査の吉田裕司さん ㊧左から、町社協主事の筒井香織さん、事務局長の増田光俊さん ㊨副

ベルマーク財団は昨年の台風・大雨被害で宮城・栃木・千葉・長野の計50校を緊急支援しました。鋸南小はその支援校のひとつで、デジタルビデオカメラ、ポッチャボール、ラグビーボールを購入しました。新型コロナ禍で学校は長期休校を余儀なくさせられましたが、6月からはほぼ通常に戻っています。

樋口校長は「全国の皆さんの善意でいただいた支援。本当に長く使っていきたい」。続けて「町のみなさんの善意にも支えられていると感じています」。今後は学校でのベルマーク収集にも力を入れていくそうです。

学校全体に協力呼びかけ、活動立て直し

和歌山市立宮北小・育誠会による活動体験を紙上発表

和歌山市立宮北小学校(道本美月校長、186人)は、和歌山でのベルマーク運動説明会で活動体験発表をする予定でしたが、説明会は新型コロナ禍で中止になりましたが、早くから構想を固めていたこともあり、発表用資料を送ってくれました。



同小PTAは「育誠会」といいます。ベルマーク活動は、今から10年前、育誠会役員の声かけで、数名の親しい保護者での作業から始まりました。数年後、その保護者の子どもたちが卒業したことから活動主体は広報部に移りましたが、2017年には参加者が減って、活動継続が難しくなりました。

そこで翌年、児童を含めた学校全体に協力を呼びかけてみました。すると、「仕

分けをしてみたい」という子どもたちが手を挙げてくれたそうです。その年の広報部長で、現在副会長を務める濱渦典子さんは「保健の先生も協力してくれて、教室に行くのが難しい子も保健室で黙々と作業してくれたそう」と話します。2019年度からは、広報部の業務を離れ、ボランティアを募る形に移りました。

また、2017年に当時の広報部長がベルマーク運動説明会に参加し、マークは切り揃えたり台紙に貼ったりしなくても良いこと、送付の締め切りはないこと、ベルマーク便りコンクールが開かれていること、ベルマーク預金は使うこ



とが援助につながることを初めて知りました。情報は保護者間で共有し、活動方法を見直しました。

昨年からはベルマーク便りを作り始め、さっそくコンクールに応募。見事、佳作に選ばれました。作っているのは栗村美穂さん。賞金の1万円は図書室の本の購入にあてたそうです。

2018年には一輪車2台を購入しました。濱渦さんは「子どもたちがとても喜んで使っていました」と言います。栗村さんは、今後やってみたいことが頭に浮かんでいるようで、「新型コロナが終息したら、ベルマークが付いている商品を当てるクイズラリーや、他校がやっていたテレビ番組『逃走中』を真似たイベントをしてみたい」と話してくれました。



新大使に近藤瞳さん 神戸市立魚崎小

神戸市立魚崎小学校(山本直子校長、1195人)のベルマーク大使がPTA本部役員・近藤瞳さん=写真中央=に交代しました。2016年1月の任命以来、PTA交代期に大使を引き継いでもらっており、近藤さんは6代目です。

例年、クラスから学級委員を選出しますが、今年度はコロナ禍により委員選出が出来ませんでした。そのような状況の中、ベルマーク正副委員長と3人で、マークを仕分けてくれています。「2学期からは、お手伝いして下さる方を募集して進めていきたい」と話してくれました。



コロナに負けない「居場所」、オンラインで話し合う

キューピーみらいたまご財団の「サミット」に200人が参加

こども食堂や食育支援に取り組む団体を助成している公益財団法人キューピーみらいたまご財団が、「第6回地域の居場所づくりサミット」を6月13日に開き、200人が参加しました。協賛会社のキューピー（ベルマーク番号07）が2017年4月に設立し、これまで186団体に7651万円を助成してきた財団です。毎年、来場形式で行っていましたが、新型コロナ禍の影響で今回はオンライン方式に変更。テーマには、「新型コロナに負けない居場所づくり支援」が掲げられました。

第1部の活動報告では、「NPO フリースクール僕んち」と「竹園土曜ひろば」の2団体が助成金をどのように活用したか、動画で説明しました。

第2部は「食の居場所づくり講座」。初めに一般社団法人全国食支援活動協力会の専務理事、平野覚治さんがこども食堂などを対象に実施したアンケート結果を元に課題を探りました。

続いて2人のゲストが居場所づくりの経験を紹介。一般社団法人ともしび at だんだん代表理事の近藤博子さんは「こども食堂」の名付け親とされています。運営するこども食堂「だんだん」の、休校期間中の対応を話しました。「親御さんの悲痛な声が聞こえたので、自分たちに出来ることをしたい」と、調理が簡単などんぶり弁当を作り、1日30食、多いときは60食も提供したそうです。

NPO法人フリースペースたまりば理事長の西野博之さんは、不登校やひきこもりの子どもの「居場所づくり」に34年前から取り組んでいるこの分野の第一人者です。たまりばでは必ず昼食を作ることを続けています。西野さんは、一斉休校要請を受け、虐待やDVが増加する心配



①竹園土曜ひろばの主な活動は、対象を子どもだけに限定しない「ランチ交流会」 ②新型コロナ禍でも子どもたちが工夫して遊んでいることを説明する西野博之さん ③参加者は画面右側のチャット欄から質問することが出来た ④最後は手を振って「ありがとうございました」

が頭に浮かび、居場所を開けました。コロナとの共存にも着目し、「格差の拡大、生活困窮者の増加、不登校・ひきこもりの増加などの不安を抱えることになる。食を通じた『居場所の確保』が必要だ」と話しました。

最後に、東京ボランティア・市民活動センターの所長、山崎美貴子さんが「活動団体に寄り添って伴走してくれるキューピーのような企業・社会福祉協議会・民生委員

などの『中間支援組織』、行政、市民活動団体が繋がれば、地域を耕すことが出来る」とまとめ、居場所を皆で作っていく必要性を改めて訴えかけました。

キューピーみらいたまご財団の2021年度の助成事業募集については、10月に同財団ホームページで公開予定、また、公募期間は11月～12月初旬の予定です。

活動の「活性化」を目指して動画制作

大阪市立咲洲みなみ小中一貫校

大阪市住之江区の市立咲洲みなみ小中一貫校（清原良一校長、504人）の生徒が、動画「ベルマークを集めてみたよ！」を制作し、YouTubeで公開しています。マンネリ化していたベルマーク活動を「活性化」するために、令和元年度生徒会が「新しい取り組みをしたい」と要望を出したことがきっかけでした。2018年に、ベルマーク活動への生徒の参加意識を高めるため公開した動画「お隣さんは AKEMI」に続いて、2作目です。



今回の動画制作は、昨年夏から始めました。登場するパペット作りには美術部員4人で3日間かかりました。生徒会執行委員を務めていた増本美悠さん（8年）は「何回も作り直したり、パーツをなくしたり、土台に貼ったパーツがすぐはがれたり、いつ終わるのかと何度も思った」そうです。その後、台本を作って音声を録音。主役のあけみちゃんを演じたのは生徒会長の野見山こころさん（9年）です。「恥ずかしさを捨てて、全力でなりました。真面目なイメージの生徒会だからこそ、あえて面白さを入れた」と振り返ります。撮影も大変だったそうで、執行委員だった妹尾汰知さん（8年）は「どの位置から撮れば良い構図になるか、考えました」と話します。

生徒会だけでなく、美術部員や技術科、家庭科、美術科の教員からも協力して出来上がった動画は、今年4月にYouTubeにアップしました。生徒会副会長だった木村愛奈さん（9年）は「多くの人が『いいね』を押してくれたり、見てくれたりしたので制作してよかった。全国に届いてほしい」と願っています。生徒会担当の沖正樹先生は、「自主企画したものがひとつの作品や結果を生み出す過程を、今後も楽しんでほしい」と期待しています。

ベルマーク収集は、今では学校全体でも取り組むようになったそうです。「ベルマークデー」には小学生も児童会を中心にカートリッジの点数を数えます。日頃から地域の人も援助してくれるようになり、さらに年度初めの職員会議でもベルマーク活動を企画・立案するようになりました。2016年に、ベルマーク活動復活のきっかけを作った沖先生は「『ベルマークを集めて・数える学校』として定着してきたように感じる」と振り返りました。



今年度で開校3年目を迎える同校は、9年間を通じた学習プログラムの実践、小・中の枠を超えた発表会や大会の開催など、独自の取り組みに力を入れています。これからも9つの学年全体で、目標の「毎年、ベルマークでみんなが喜ぶ学校備品を購入すること」の実現に向けて頑張ってください。

休校中ベルマークに取り組んだ小4健斗さんからお手紙

休校中に自由研究としてベルマークに取り組み、家族で仕分けたマークを財団に寄贈した兵庫県の小学4年生、健斗さんから財団にお手紙が届きました。ベルマーク新聞6月号で健斗さんのことを紹介したのですが、それを受けて「がんばって自由研究をやった」と振り返り、「日本のどこかでだれかの役に立ちたいという思いでベルマークの運動に協力したい」と書かれていました。マークがたくさん集まったらまた送ってくれるそうです。



コロナ禍だからこそ読書を「本の帯コン」作品募集中

児童向けの本の「帯」を小学生がデザインする「大阪こども『本の帯創作コンクール』」（大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催）。第16回となる今年はコロナ禍と重なりましたが、そんな時だからこそ、子どもたちに読書の楽しさや大切さを知ってもらおうと、例年通り開催されています。賞の中にはベルマーク賞もあります。締切は9月3日（木）消印有効。課題図書の本名や帯の作り方、募集要項などは大阪府書店商業組合のホームページでご確認ください。問い合わせは大阪読書推進会事務局（06-6361-5577）へ。



コロナ禍の今、「感謝」を募集

ファミマ「ありがとうの手紙コンテスト2020」

協賛会社のファミリーマート(ベルマーク番号23)は、小学生が感謝の気持ちをつづる「ありがとうの手紙コンテスト2020」の募集を7月1日から始めました。12回目となる今年は、新型コロナウイルスに関連した感謝の手紙も募っています。

応募作品は全国を7地区に分けた各ブロックに分けて審査し、それぞれ低・中・高学年の「最優秀作品賞」計21人が選ばれます。他に「審査員特別賞」35人、「学校団体賞」7校を表彰、応募者全員に「参加賞」が贈られます。審査員長を務めるジャーナリストの池上彰さんは「一人ひとりが新しい生活様式、真の自然との共生を模索している今、新しい『ありがとう』が生まれているのではないかと感じています」と期待を寄せます。

作品はA4用紙1枚、400字程度が目安で、一人1点限り。応募は郵送に限ります。詳しくはファミリーマートのHPをご覧ください。締切は10月31日(土)必着。問い合わせは「ありがとうの手紙コンテスト」事務局(電

話0120-611260、平日10時～17時)へ。

このコンテストは2009年から始まり、応募の累計は36万通。感謝の対象は自由で、身近な家族や先生、友人、動物、建物など、さまざまな感謝を伝える手紙が寄せられます。ファミリーマートでは今回、新型コロナ禍を受けて「医療に従事する方、公共交通機関で働く方、宅配便を運んでくれる方、お店のスタッフの方をはじめとした、私たちの安心安全、毎日の生活を支えてくれる方々へありがとうの気持ちを伝えてみませんか」としています。



スマifulジャパンが「点数2倍キャンペーン」を実施

協賛会社のスマifulジャパン(ベルマーク番号70)が「ベルマーク点数2倍キャンペーン」を実施しています。専用台紙に同社のマークを貼って財団に送ると、2倍の点数をもらえます。

対象は、7月1日(水)から10月30日(金)までに財団に到着したマークで、専用台紙に貼ったもののみが対象となります。スマifulジャパンのホームページ(<https://www.sumifru.co.jp/campaign/sns/bellmark2020/>)から専用台紙をダウンロードしてください。1学校・団体あたり5枚まで受付することが出来ます。



「東北の子どもたちのために」9年連続寄贈

ユニー・UDリテール、約47万点

流通大手のユニー(本社・愛知県稲沢市)は、「ベルマークを集めて東北の子どもたちを応援しよう」をスローガンに集めたベルマーク約47万点を6月11日、ベルマーク財団に寄贈しました。

3月に同社のスーパー「アピタ」「ピアゴ」147店舗と、UDリテール(本社・横浜市)が運営する「MEGAドン・キホーテUNY」30店舗で集めました。ユニー本社や各地区事務所の従業員も協力。回収箱は協賛会社のキリンビバレッジ(ベルマーク番号54)が提供しました。

この取り組みは東日本大震災の翌2012年から始まり、寄贈されたマークは9年間で800万点超となりました。

今回は新型コロナ禍と重なりましたが、それでもたくさんの人がベルマークを寄せてくれました。

ユニーとUDリテールは、ともにパン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH、本社・東京都目黒区)のグループ会社です。11日はPPIHコーポレートコミュニケーション本部ESG推進室ゼネラルマネージャーの花井彩由実さんや、キリンビバレッジ中部圏流通支社、東京のキリンビバレッジ本社などの関係者10人が財団事務所を訪れ、贈呈式がありました。花井さんには財団の高木文哉常務理事から感謝状が手渡されました。



集まったマークと一緒に。前列右がPPIHの花井彩由実さん、同左がベルマーク財団の高木文哉常務理事

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈震災寄贈〉5月21日～6月20日
▼岩手県 太田小令和元年度3年生一同(南)ニコニコ総合企業▼福島県 匿名希望▼茨城県 神栖市社協鐘の会▼栃木県 斎藤早苗 小島由香▼埼玉県 松田洋美「安心して暮らせるまちづくりの会」土本喜美 匿名希望▼千葉県 関田元子 角田憲▼東京都 小山智子 小倉ゆみ子 田中幸子 田口薫 中村弘子 山田こずえ 吉井(株)栃木屋 川上洋一 中央区立有馬幼稚園 下津恵美 日本基督教団小金井緑町教会 大井川沙智子 佐藤泰子▼神奈川県 尾崎満 全富士通労組連合会 なかまゆ▼新潟県 土田雅子▼富山県 銀の車輪▼山梨県 レインボーコンサルティング▼岐阜県 望月祐子▼静岡県 池谷範緒▼愛知県 水野美雪 秋田京子 中部テレコミュニケーション(株) 長江政則 村瀬昭男 平井隕行 ユニー(株)アピタ・ピアゴ147店舗・本社・地区事務所、UDリテール(株)MEGAドン・キホーテUNY30店舗 匿名希望▼京都府 柴折幸代▼大阪府 徳山幸枝 ひより・たかこ 匿名希望▼兵庫県 ガールスカウト兵庫第21団 家田さおり 三和学▼和歌山県 谷祐輝▼広島県 岡野真紀▼福岡県 亀田良江▼熊本県 幸野千恵▼宮崎県 宮崎裕子▼沖縄県 大嶺さつき▼無記名=16件

葉県 松下はる江 ちどり保育園 森谷孝 阿部眞也▼東京都 天野菊江 有田慶子 鍵山浩美 田尾文子 立川未希 日本チャリティプレート協会 石上祥光 王イテイ 創生企画(株) 上田優子 小林 平山昌弘 町山路子 リオンサービスセンター(株) 海野史恵(株)ことハウス 清家きく子 J&J愛をささやく(株)IWDベスト(株)メンテックカンザイ東京支店 第一生命カードサービス(株) 中村英恵 パナソニックライフソリューションズ労組東日本総合支部 福元眞利子 匿名希望▼神奈川県 JA共済連川崎センター 石黒琢一郎 福光政利 黒川 匿名希望▼新潟県 深澤悦子 中原真理恵 立神敏子▼石川県 沖恭子(株)中島商店 福田陽子 嶋口和恵▼福井県 田中奈央▼長野県 飯山市社協 宮下ふさ子 和田浩美▼静岡県 中西弘子 上田浩晶 杉井浩美 畠中将也 匿名希望▼愛知県 石原里美(株)ヤマダ社員一同 山場俊卓 有本宗子 長尾 佐藤有己世 中村弘子 服部香 尾澤なべ子 梶原和美 はあと薬局 吉田美香▼三重県 アイスター商事代理店川口節子 藤井恵美▼滋賀県 安井則子▼京都府 福島泰子 小田哲司 中島亨 匿名希望▼大阪府 介護老人保健施設ニューライフガラス アイスター商事代理店田中康子 豊徳建設(株) 東村美咲 桃陽小PTA(株)ヤマイチテクノSDGsプロジェクト 平井圭子▼兵庫県 吉本美奈子 奥の池幼稚園 山根貴泰 匿名希望▼和歌山県 岡本多香子 カツ二 須佐見陽子▼鳥根県 妹尾治世▼岡山県 木村涼子 吉田敏彦 大塚泰弘 邑久中▼広島県 金元薫 藪下真由美(株)七護エステート▼山口県 福島ゆかり 細井優希▼愛媛県 四国中央市立新宮公民館▼福岡県 鈴木久子 TOTOUNION 西

田二美 古賀典夫▼大分県 井上義雄 石堂康史▼宮崎県 小沢克憲▼沖縄県 与儀愛子▼興田▼無記名=31件

〈友愛援助申し込み〉6月1日～6月30日
◆埼玉県 霞ヶ関北小(川越市)◆千葉県 高洲小(浦安市) 昭和(袖ヶ浦市)◆東京都 北住吉幼稚園(葛飾区) 高山小(三鷹市)◆静岡県 神久呂小(浜松市西区) 須走幼稚園(小山町)◆広島県 なぎさ公園小(広島市佐伯区)◆福岡県 柏陵高(福岡市南区)◆長崎県 長崎商高(長崎市)◆熊本県 佐敷中(芦北町)

◎協力会社2社の連絡先が変更

協力会社の連絡先が、事務所移転に伴って変更されました。問い合わせは、下記の連絡先をお願いいたします。

エルモ社

住所：〒108-0075 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー17階 電話：03-3471-4577 FAX：03-3471-4433

ミズ

住所：〒206-0812 東京都稲城市矢野口2600-42 FAX：042-379-8715
※フリーダイヤルは変更ありません。

大台達成校

6月		累計
大里西小	静岡県駿河区	8,018,325
太田南小	高松市	8,002,572
富水小	神奈川県小田原市	6,011,988
さくら小	川崎市川崎区	5,016,189
国府小	愛知県豊川市	5,009,440
戸山西小	青森市	4,069,556
小田小	川崎市川崎区	4,001,520
高倉小	大阪市都島区	4,018,838
新森小路小	大阪市旭区	4,006,506
八幡小	兵庫県加古川市	4,002,097
清明小	福島市	3,004,617
西藤島小	福井市	3,007,608
藍川小	岐阜市	3,005,329
黒田小	愛知県一宮市	3,020,287
富原小	北海道釧路町	2,009,600
飯島小	横浜市栄区	2,011,817
本牧南小	横浜市中区	2,009,097
大井川東小	静岡県焼津市	2,006,954
東小	三重県紀北町	2,024,833
三碓小	奈良市	2,031,921
豊小	岡山市東区	2,004,661
高浜小	松山市	2,031,207
太宰府小	福岡県太宰府市	2,002,801
北方小	佐賀県武雄市	2,019,188
天童南部小	山形県天童市	1,007,638
吉川幼稚園	埼玉県吉川市	1,011,614
長沼幼稚園	東京都八王子市	1,000,160
住吉小	東京都府中市	1,001,880
浜竹幼稚園	神奈川県茅ヶ崎市	1,005,779
朝日小	愛知県刈谷市	1,003,454
日吉津保育所	鳥取県日吉津村	1,013,928
南中	愛媛県今治市	1,022,932
神原小	那覇市	1,005,105